

自然科学教育分科会

平成 18 年度の主な活動予定をご報告いたします。

1. 今年は盛りだくさんの寿都町での教育サポート。

今年度は、分科会の一大イベントである寿都町教育委員会が主催するサバイバルキャンプに参加しての教育サポートの他に、新たに 5 月のカキ祭りへ参加してのサポートや、10 月にはサツマイモ掘り&試食などを予定しています。今年も、寿都の子ども達のたくさんの笑顔を見ることができればと考えております。

2. さらに Power Up 白石区川まつり。

前年度は、白石区土木センター主催による川まつりに 2 年ぶりに参加し「水車発電実験」や「重曹を使った鍋の焦げ落とし実験」などを行いました。今年度は、さらに「環境」をテーマとしたメニューや、電球の規模を大きくした水車発電を現在検討中です。前年度同様に白石区在住の会員・サポーターが中心となり、『地域に根付いた活動』を目指し活動していきたいと考えております。

3. 今年もがんばるぞ！ 小・中学校等での教育サポート。

最近では学校をステージとした教育サポート件数が若干減ってきておりますが、今年度はもっと積極的に取り組んでいこうと検討しています。まず、5 月には定山溪中学校での「豊平峡ダムや青函トンネルについての話」を予定しております。また、過年度から継続しているサポートや新たなサポートメニューなど、それぞれの分野でプロフェッショナルである会員・サポーターが大いに活躍して、より多くの教育サポートを行っていただければと考えております。

4. 『New パンフレットを作成中です。』

現在、多方面の方からも意見を頂きながら対馬座長を筆頭に新しい分科会のパンフレットを作成中です。今年度中には完成させ、パンフレットをフルに活用して、より多くの方に分科会の活動について広く発信していきたいと考えております。

これらの他、定例分科会、清田区における重点活動、キタヒロ昆虫隊との活動などを予定しております。

今年度も会員・サポーターが一丸となって『エンジョイ&アクティブ』をモットーに活動を続けていきたいと思っております。



昨年度、寿都サバイバルキャンプでの一コマ

*当分科会では、会員・サポーターを随時募集しております。連絡は、下記までお願いします。

座長：対馬 一男(E-mail: tsushima.k@ces.co.jp)

幹事：赤松 周平(E-mail: akamatsu@kai-koei.co.jp)

(文責：分科会副幹事 鈴木 正良)

観光分科会

1. 平成 17 年度の活動報告

平成 17 年度は「観光振興のための社会資本の整備・利活用」をテーマに、主に講師を招いての勉強

会活動を中心に行ってきました。

勉強会は以下の計2回開催し、北海道観光や地域振興に関する多くの知見を得ることができました。

○第1回勉強会

話題提供者：成田 一憲 氏

(北海道経済部観光のくにづくり推進室長)

テーマ：「北海道観光の現状と課題」

日 時：平成17年8月5日(金)18:15~20:00

場 所：札幌市男女共同参画センター

○第2回勉強会 (リージョナルステート研究会と合同開催)

話題提供者：中島 興世 氏 (恵庭市長)

テーマ：「花の街・恵庭のまちづくりと展望」

日 時：平成18年1月16日(月)18:00~19:30

場 所：札幌エルプラザ4階 A会議室

2. 平成18年度の活動計画

平成18年度は平成17年度の活動成果を踏まえ「観光に関する地域の取り組み支援・実践的活動」をテーマとして、技術士の専門性を活かし、地域との連携を志向した以下のような活動を予定しています。

1. 現地視察や現地関係者・地域住民とのコミュニケーション (昨年度の中島恵庭市長の講演を踏まえ、恵庭市の視察を検討しています)
2. 観光振興をサポートできる社会資本の整備・利活用
3. 専門家の目で地域観光資源の発掘、再評価 (お詫び)

コンサルタンツ北海道108号で、最近冬期のオーストラリア人観光客が急増しているニセコ地域への現地視察実施についてお知らせしたところですが、告知が遅れたため、参加者が少なく見送らせていただきました。参加希望いただいたメンバーの方にはお詫びいたします。今冬には再度実施に向けた準備をし、早めにお知らせいたしたいと考えております。

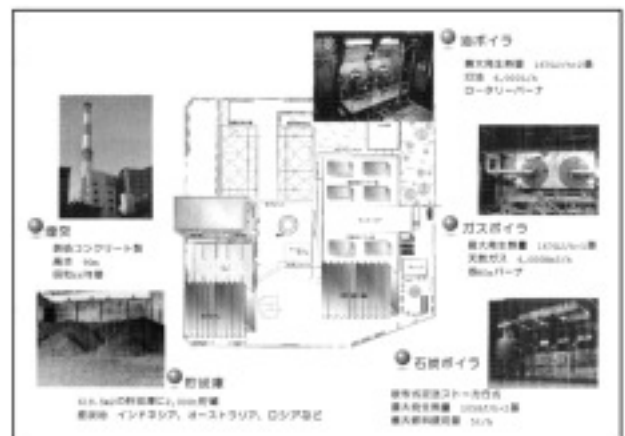
(文責：分科会座長 宮武 清志)

循環技術システム研究分科会

1. 最近の活動

○2月：「地域冷暖房施設見学会」

今年に入ってから活動は札幌市内の(株)北海道熱供給公社の中央・札幌駅南口の両エネルギーセンターの施設見学会で幕を開けました。JR札幌駅の北に立つ赤と白の煙突は誰しも記憶があると思いますが、35年以上に渡って札幌市内中心部に高温水を供給し、多くの熱需要を賄ってきた中央エネルギーセンターです。施設は相当古いという印象でしたが、大変良く整備されていました。また、JRタワー地下には最新の南口エネルギーセンターがあり、JRタワー周辺建物に冷・温熱を供給しています。両施設共普段あまり目にしない施設だけに興味深く見学させていただきました。



○4月：講演「北海道における理想エネルギー形態像」

第二弾は北海道大学大学院工学研究科の近久武美教授をお招きして、上記の演題で講演をしていただきました。京都議定書の発効以来 CO₂ 削減の課題は待った無しに我々の前に立ちふさがっています。先端のエネルギー事情と教授が携わっている研究の進展を大変分かりやすく提示していただきました。コージェネレーション、燃料電池他電力の供給形態を含めて様々な示唆をいただきました。

2. 今後の活動予定

今年度も勉強会・見学会を中心に、幅広い活動をしていきたいと思います。新メンバーも増えていますので、興味がある方はぜひおいで下さい。

(文責：分科会事務局 外 朝彦)
t_soto@ikedan.co.jp

地域主権分科会

1. はじめに

平成 17 年度から、新しく私どもの「地域主権分科会」が設立されました。当研究会は、地域主権、地方分権、権限委譲、人口減少、市町村合併等私たちを取り巻く社会経済情勢を踏まえて、これからの北海道のまちづくり、地域づくり、社会資本整備のあり方等を幅広く勉強しています。また、技術士としてその成果を、社会に情報発信し、行動することにより社会に貢献することを目的としています。当研究会では、隔月に 1 度程度研究会を開催し、メンバーの自由な発想の下に各種のテーマを議論・検討しています。

2. 研究会の活動報告

当研究会は第 1 回目の研究会を平成 17 年 6 月 21 日に開催し、以来、9 月 6 日、11 月 1 日、12 月 14 日、平成 18 年 1 月 31 日と合計 5 回開催し、このほか幹事会も開催しています。今回は第 3 回目の研究会の検討結果を報告します。

第 3 回目の研究会では、次のような意見が出され

ました。

- ・今後の本研究会の検討テーマを探るため、メンバー全員に対して「アンケート調査」を実施した。
- ・アンケート調査の結果からは、本研究会の今後の検討項目として「地域主権」、「人口減少下の社会資本整備」、「地方の経営と社会資本整備」の 3 項目が選定された。
- ・アンケート調査に対して、回答した根拠や自分の熱い思いを、研究会の参加者全員に語っていただいた。

その主要な意見を紹介すると、おおむね次のようになりました。

- ・国のビジョンと北海道庁のビジョン、市町村総合計画との整合性をいかにして図っていくべきかが今後の検討課題である。
- ・技術士が社会に対して情報を発信していくのだから、社会資本整備など自信の持てる分野を中心に検討していくべきである。
- ・地域主義に立脚した新しい北海道のビジョンを検討し、展開していくことが重要である。
- ・地域主権の全体像と地域の具体的なイメージを、どのように具体化していくかが今後の主要な検討課題になる。
- ・地方の生活圏を充足していくためには、広域都市圏が整備していく社会資本とどのように役割分担をしていくかが課題である。
- ・少子高齢化を背景として、地方経営、社会資本整備の方法論を検討していく必要がある。

以上の様々な意見、思いを吐露した後で、さらに情報発信のイメージを具体化するため、アンケート調査結果の上位 3 項目に対して、さらに各人の情報発信イメージを考えることとなりました。これに関しましては、次回に報告します。今回はアンケート調査の結果を、ご紹介します。

このアンケート調査は、地域主権分科会の構成メンバー全員が参加して実施しました。検討テーマは各人が研究したいものを、自由に発想し、追加していく形式にしたところ、最終的に 18 のテーマが提案されました。

調査・集計方法としては、この 18 のテーマに対し

て、一人につき1位から5位までの順位をつけてもらいました。その順位の得点を、1位7点、2位5点、3位3点、4位2点、5位1点として、集計しました。さらにそのテーマ毎の点数の多いものから順位をつけ、最終的に合計得点の多い3つのテーマを選定しました。

その合計得点の多かったものを上位から並べると「地方の経営と社会資本整備」、「地域主権」、「人口減少下の社会資本整備」の3テーマとなりました。

※次回はテーマごとの情報発信イメージについて報告します。

表1 地域主権分科会の17年度の活動内容

研究会の回数	研究会の開催時期	研究会の開催テーマ
第1回	平成17年6月21日	研究会の主旨・会の運営方針
第2回	平成17年9月	市町村合併問題
第3回	平成17年11月	人口減少下の社会資本整備
第4回	平成17年12月	地域主権と権限委譲
第5回	平成18年1月	地方分権と道州制
第6回	平成18年3月	その他の自由なテーマ

(文責：分科会幹事 中田 光治)

表1 今後の検討テーマに関するアンケート調査結果(平成17年11月実施)

NO	検討テーマ	合計得点	得点の順位
1	地域主権	59	2
2	地方分権	3	13
3	道州制	17	8
4	権限委譲	3	13
5	市町村合併	13	8
6	人口減少	0	17
7	人口減少下の社会資本整備	54	3
8	地域経済の再生	3	13
9	北海道の活性化	5	11
10	行政効率化	5	11
11	少子高齢化	0	17
12	地方の独自政策	17	8
13	地方議会の改革	1	16
14	国土形成計画の二層の広域圏	12	10
15	まちの空間設計	21	5
16	地方の経営資源の整備	25	4
17	地方の経営システムの構築	14	8
18	地方の経営と社会資本整備	67	1
	合計	319	***

